

令和4年度当初予算 5,698千円

脱炭素化に向けた消費行動促進事業(新規)

1 目的

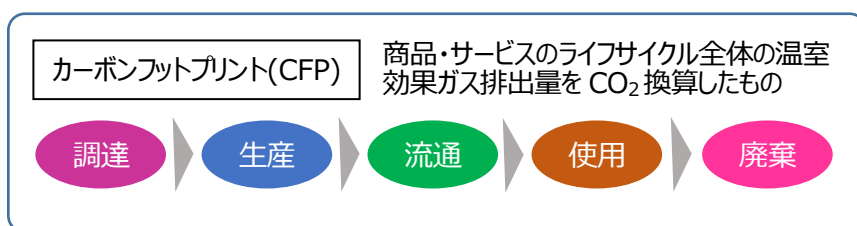
暮らしに身近な食の分野において、生産・流通等に伴い発生するCO₂の見える化及びそれを活用した普及啓発を行うことで、CO₂排出の少ない食品等の購入を促します。

また、流通段階でのCO₂排出の少ない大阪産(もん)や、農薬・化学肥料の使用削減によりCO₂排出の低減にもつながる大阪エコ農産物の販売拡大との取組みとも連携します。

2 事業概要

(1) 大阪版カーボンフットプリント(CFP)等を活用した普及啓発手法の確立

国関係機関において検討が進められている簡易版CFPを活用して、大阪で生産された食品のCFPを算定する手法を構築します。具体的には、大阪産(もん)や大阪エコ農産物をモデルに、流通段階での輸送距離の削減分や農薬・化学肥料の使用削減分を簡単に反映する方法などについて検討します。また、算定結果をもとに、わかりやすくラベリングする手法の検討も併せて行います。



カーボンフットプリント(CFP)の概要



一般的なCFPラベリングのイメージ

(2) 大阪版CFP等を活用したCO₂に配慮した消費行動の促進

製品へのCFPラベリングを広めるため、食品関連事業者と連携したCFP等の活用事例の共有及びその活用に向けた啓発を行います。

また、試行的に、大阪産(もん)や大阪エコ農産物などCO₂排出の少ない食品等にCFPラベリングを行い、店頭や広報媒体で消費者向けに周知し、効果検証を行います。その結果を活かし、府内でCFPを活用した取組みを展開していきます。

■ 現在の進捗状況及び今後の進め方について

令和4年6月 受託先決定((一財)大阪府みどり公社)

※農林水産省が作成する簡易算定シートをもとに府独自の算定シートの作成を検討

～10月 大阪版CFP算定等に向けた有識者検討会の開催(2回程度)

11月～ イベント等を通じたCFPラベリングの試行及び普及啓発の実施